

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 12 月 3 日 (2020.12.3)

【公開番号】特開 2019-150432 (P2019-150432A)

【公開日】令和 1 年 9 月 12 日 (2019.9.12)

【年通号数】公開・登録公報 2019-037

【出願番号】特願 2018-39531 (P2018-39531)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 21 日 (2020.10.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球の入球が可能な第 1 入球口と、

前記第 1 入球口への遊技球の入球が制限される第 1 制限状態と前記第 1 入球口への遊技球の入球が許容される第 1 許容状態とを切り替える第 1 電動役物手段と、

前記第 1 制限状態から前記第 1 許容状態に切り替える手段と、前記第 1 許容状態において第 1 所定条件が成立した場合に前記第 1 制限状態に切り替える手段とを備え、1 回の前記第 1 許容状態が実行される第 1 切替遊技を実行する第 1 切替遊技実行手段と、

前記第 1 切替遊技が所定の複数回実行される第 1 遊技を、第 1 特定条件の成立に基づいて、前記第 1 切替遊技実行手段を用いて前記第 1 電動役物手段の動作を制御することによって少なくとも実行する第 1 遊技実行手段と、

遊技球の入球が可能であり、前記第 1 入球口とは異なる第 2 入球口と、

前記第 2 入球口への遊技球の入球が制限される第 2 制限状態と前記第 2 入球口への遊技球の入球が許容される第 2 許容状態とを切り替える第 2 電動役物手段と、

前記第 2 制限状態から前記第 2 許容状態に切り替える手段と、前記第 2 許容状態において第 2 所定条件が成立した場合に前記第 2 制限状態に切り替える手段とを備え、1 回の前記第 2 許容状態が実行される第 2 切替遊技を実行する第 2 切替遊技実行手段と、

前記第 2 切替遊技を含む第 2 遊技を、前記第 1 入球口への遊技球の入球を契機として成立し得る第 2 特定条件の成立に基づいて、前記第 2 切替遊技実行手段を用いて前記第 2 電動役物手段の動作を制御することによって実行する第 2 遊技実行手段と、

遊技球の入球が可能であり、前記第 1 入球口及び前記第 2 入球口とは異なる第 3 入球口と、

前記第 3 入球口への遊技球の入球が制限される第 3 制限状態と前記第 3 入球口への遊技球の入球が許容される第 3 許容状態とを切り替える第 3 電動役物手段と、

前記第 3 制限状態から前記第 3 許容状態に切り替えられ、第 3 所定条件が成立した場合に前記第 3 制限状態に切り替えられることで遊技者に特典が付与され得る第 3 切替遊技を含む第 3 遊技を、前記第 2 入球口への遊技球の入球を契機として成立する第 3 特定条件の成立に基づいて、前記第 3 電動役物手段を制御することによって実行する第 3 遊技実行手段と、

所定領域に打ち出された遊技球の移動経路を同一経路に規定し、遊技球を 1 球ずつ移動

させるための経路規定手段と、  
を備え、

前記第 1 遊技実行手段による第 1 の第 1 切替遊技と当該第 1 の第 1 切替遊技の後に実行される第 2 の第 1 切替遊技との間に、前記第 1 の第 1 切替遊技に基づいて実行される前記第 2 遊技に基づいて実行される前記第 3 遊技を実行する手段を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記第 2 入球口は、前記経路規定手段によって規定される前記移動経路に沿って移動する遊技球が入球可能な位置に設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。